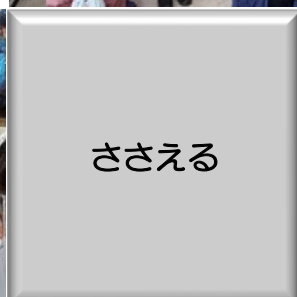


ねっとわーく

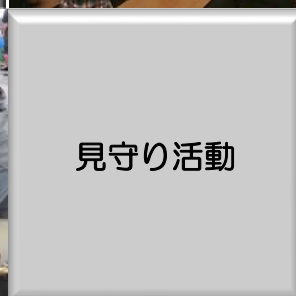
○福祉推進委員活動ギャラリー○

第15期の福祉推進委員活動も残り半分となりました。平成から令和に変わりましたが、今年度も各地でさまざまな特色ある地域福祉活動が行われましたので、写真で振り返ります。

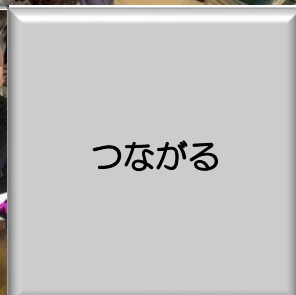


ささえる

まなび

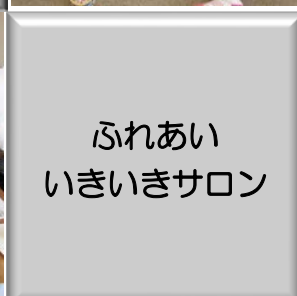


見守り活動



つながる

研修会



ふれあい
いきいきサロン



ーもくじー

- 福祉推進委員活動ギャラリー … 1
- 特集：見守りネット＆ネット … 2～3
- 福祉推進委員リレートーク … 4
- 任期は何年?! … 4

特集：見守りネット＆ネット

なぜ地域で見守りが必要?!

つながりの希薄化や家族力の低下など、近年では少子高齢化と共に、地域を取り巻く環境も大きく変化してきました。中でも核家族化や単身世帯の増加など、家族だけでは支えきれず、問題を解決することが難しくなってきました。

身近な地域の中で、お互いのちょっとした目配りやさりげない気配りで、「変化のサイン」を早期に発見することができ、問題の深刻化を防ぐことができます。また、防災への関心が高まる中、日常的に見守り活動が行われている地域ほど、災害時にも住民同士の助け合いが円滑に進みます。自分の出来る範囲での見守り活動をお願いします。

見守り活動時の“変化のサイン”

心配な方にこんなサインは出ていませんか?!

～暮らし～

- ・しばらく顔を見ていない
- ・昼間でも雨戸が閉まっている
- ・新聞や郵便物がたまっている
- ・家や衣類から異臭がする

～身体～

- ・足元が急に不安定になった
- ・髪、ひげ、爪がのびたままになっている
- ・顔や手足に内出血や傷がある
- ・最近、急激にやせている

～家族～

- ・怒鳴り声や泣き声がする
- ・物が飛び交う音がする
- ・本人に会わせない
- ・本人に対し乱暴にふるまう



どんな見守り方法があるの?!

～ 日常的な見守り ～

⇒日常生活の中でさりげなく見守る!!

- 新聞、郵便物がたまっていないか
- 電気の点灯やカーテンの開閉はどうか
- 洗濯物が干されているか
- 外を歩いているときの様子の確認
- 出会った際のあいさつ、声かけ

～ 定期的な見守り ～

⇒定期的に声かけ・訪問し見守る!!

- 安否確認のための訪問
- ふれあいサロンへのお誘い
- 食事サービスなどの配達
- 手紙や広報誌等の配付



～ 経済 ～

- ・お小遣いを持っていない
- ・年金があるのに「お金」がないと言う

～ 認知症 ～

- ・物忘れが目立つ
- ・同じことを何度も繰り返す
- ・ゴミの分別ができない
- ・季節に合わない服装をしている
- ・家族が介護の悩みを話している
- ・「盗まれた」と言うことが多い
- ・深夜に出歩く、道に迷う
- ・同じものばかりを買ってきている
- ・店先での支払いでお札ばかり出す
- ・知っている人に初対面の対応をする などなど



“変化のサイン”に気付いたら、すぐに自治会長や民生児童委員、社会福祉協議会に相談を!

見守り活動を通じてへ減災へ

大規模災害が発生した際には、救助隊など行政機関の支援が活動に入るまで時間を要します。実際に阪神大震災の際にも、自力や家族、隣近所の方に救助された方の割合は実に 97%以上になり

ます。このように隣近所の方の力は災害時にはとても重要となります。日頃からあいさつや声かけなど、地域の中で顔の見える関係をつくり、隣近所で支え合いながら、減災を目指しましょう。



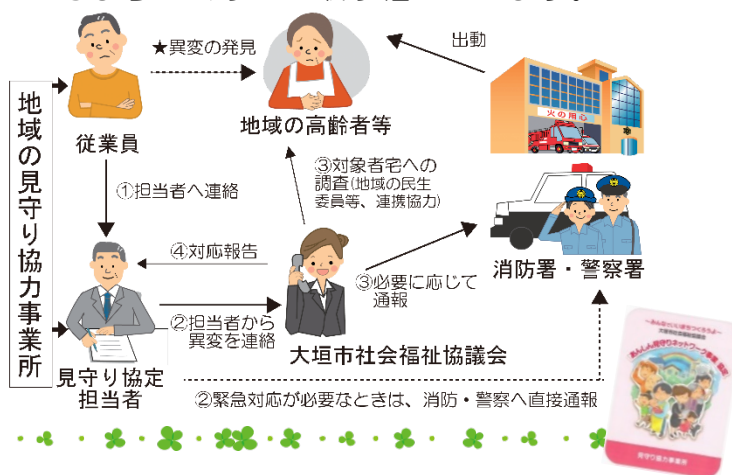
見守りを必要としている方（見守り対象者）が住み慣れた地域で安心した生活を継続することができるよう、自治会内で関係するメンバーが集まり、見守り方法や気になる方の情報交換、災害時の支援方法等について話し合い、地域で支え合う仕組みをつくる大切な会議になります。

見守り会議を定期的を開催することで、異変の早期発見や、見守りをするメンバーが顔を合わせることで、お互いの顔がわかり、いざという時に協力し合うこともできます。また地域の中では解決が難しい問題の際には、福祉関係の専門機関等と連携を図ることができます。ぜひ、見守り会議で地域の情報交換をしていきましょう。

市社協では、日常業務の中で地域の方々と関わりが多い、事業所（新聞販売店や金融機関、配達業者やタクシー等）や大垣警察署とも連携し、早期に異変を発見し、より重層的な見守りネットワークの構築を目的に、見守り活動に関する協定を実施しています。

異変発見時には市社協に連絡をもらい、自治会長や民生児童委員、見守り隊の方々、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターや市役所、警察等の行政機関と連携し、安否確認を行います。

このように地域の見守り活動と地域の中にある
様々な関係機関とも連携しながら、安心して暮ら
せるまちづくりにも取り組んでいます。



Q 「還付金が戻るから ATM に行く」と話していますが…。

A 大垣市内では高齢者を狙った特殊詐欺が多発しています。市役所や金融機関から「還付金がある」「未払い金がある」などの話がありましたら、「これは詐欺かも…」と考えて、身近な人や警察に相談するように伝えてください。地域で声を掛け合いながら被害を防ぎましょう。

Q 「認知症かも」どこに相談したらいいのか…。

A 認知症による症状での行方不明事案も年々増加しています。市社協では、認知症の支援に特化した相談チームも設置し、地域包括支援センターと連携し、認知症の方への対応を行っています。「認知症かも」という「気づき」が適切な支援や治療を早期に開始する糸口にもなります。気になる事がありましたら、市社協や地域包括支援センターまでご相談ください。

福祉推進委員リレートーク！



北地区笠木町自治会
説田 百合子さん

今回は平成3年の福祉協力員制度時代から活動している説田さんにお話を伺いました。

Q. 地域ではどのような活動をしていますか？

地区社協行事への参加協力や町内のふれあいサロンは、保健センターのピンピン体操から始め、現在は月2回開催し、皆さん楽しみながら参加してもらっています。

Q. 喜びややりがいを感じたことは？

食事サービスや歳末友愛訪問などで訪問すると喜んでいただけることです。お話をしながら、色々なことを聞いて、少しでも自分が地域の役に立っていると感じるのが嬉しいです。

Q. 長く活動できた秘訣はなんですか？

色々な活動に参加して学び、物事を前向きに考えながら、楽しく活動ができたからです。今度は自分がお世話になる側になるのかなと感じています。

Q. 最後に福祉推進委員さんにメッセージを！

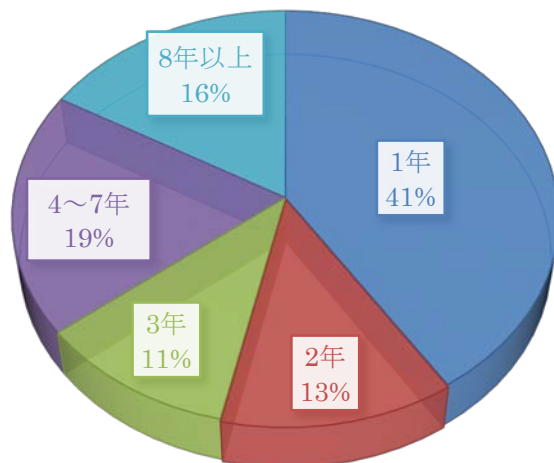
自分の出来る範囲で、福祉推進委員になるまでは知らなかった様々な地域活動が出来る喜びを味わいながら、楽しく活動に取り組んでください。



～ 任期は何年？！ ～

昨年の4月より活動がスタートしました第15期福祉推進委員も間もなく1年になります。この福祉推進委員制度は、平成3年に福祉協力員の名称で始まり、平成13年度から現在の名称となりました。今年度は890名の方が地域での見守りやふれあいいきいきサロンなどの地域活動に取り組んでいただいています。任期は2年ですが、約半数の方は再任として引き続き活動をしていただいています。また中には、今回のリレートーク！にご協力いただいた説田さんのように平成3年の活動当初より、続けていただいている方もいます。「地域活動は楽しいな」と感じてもらえるように、福祉推進委員さんと一緒に地域づくりができればと思います。

第15期福祉推進委員活動年数



令和2年1月末現在

大垣市社協ホームページのご案内



社協NOWで地域活動を随時紹介ぜひご覧下さい！

大垣市社会福祉協議会

大垣市馬場町124

～みんなでいいまちつくろうよ～

地域福祉課地域支援係

TEL 78-8181

FAX 81-6200

Email chiiki@ogakishakyo.or.jp